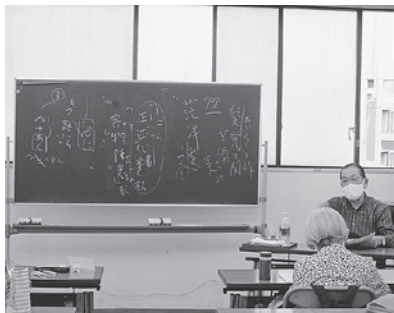


講座参加者の声

公民館では年間を通してさまざまな主催講座が行われています。今年度は新型コロナウイルス感染症に備えながらの実施となっておりますが、参加された方々に感想を寄せていただきました。講座の雰囲気を味わっていただければと思います。



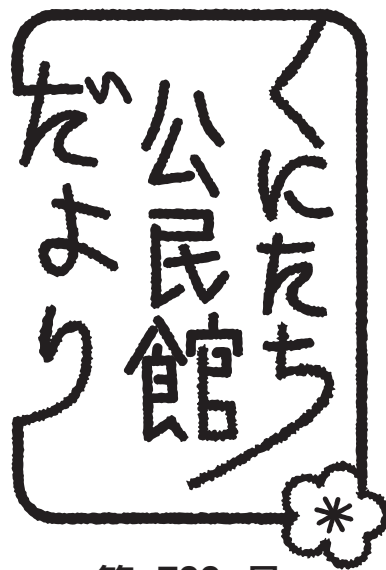
「古代の旅」に思いをはせます

水島英己先生の「万葉集を読む」講座は昨年6月に続き2回目の参加です。前回は、額田王や大伴旅人、山上憶良など万葉の代表的な歌人の作品を読みました。元号が「令和」に改まった直後で、その詞書が令和の出典先となった太宰



「古典への招待『万葉集』を読む」を受講して

田中 美幸



第 733 号

2021年3月5日
(令和3年)

「くにたち公民館だより」
ホームページのQRコード▶



発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

府での「梅花の歌三十二首」が特に印象的でした。

今回は趣が変わって「古代の旅」というテーマに沿って講義が進みました。

1回目は、古代の旅は必要に迫られての過酷なものであり、途中で命を落とす人も少なくなかったことや、旅の語源・儀礼など興味深いお話がありました。当時の旅は現代の楽しむための旅とは全く違うものであったことがよくわかります。

2回目は、高市黒人の歌十八首。黒人の歌はすべて旅先での歌です。勇壮な人麻呂の歌などと違って現代人に通ずる憂愁のようなものが感じられ、風景の中に自分の心を見つめているような歌だと思いました。

3回目は、遣新羅使人の歌。新羅に遣わされる夫を送る妻の歌に、夫が応える歌が対となり、互いを

今月の公民館 (3月~4月中旬)

- 11日(木) 昼~ ★平和講座
「身近な戦争~多摩地域で起きたこと~」
- 20日(土) 昼 ★「コロナ社会でのコミュニティの育み方 “ステイ・ウィズ・コミュニティ”」
- 21日(日) 昼 人権講座「地域で守る子どもの人権」
昼 図書室のつどい 「水墨画入門
— 『モノクロームの世界』 への道案内—」
- 27日(土) 朝 ★「逃げずに留まる『在宅避難』のすすめ」
- 28日(日) 朝 男性の料理入門
「じゃがいもがデンプンに変身！」
- 昼 ★憲法講座「民主主義と地方自治」
- 28日(日) 昼 シネボックス CINEVOX 『モダン・タイムス』
- 4月17日(土) 昼 図書室のつどい
「ヒトと進化論 進化論とヒト」

★はオンライン受講可能な講座です。



5回にわたる連続講座でした

思う哀切な歌が続きます。続日本紀の資料が添付されていて、当時の両国の関係もわかります。歌の背景には実際に歴史上の出来事があるのだと実感しました。それについても新羅到着後の歌や帰国時の歌は残されていないとのこと、いったい何があったのか気になるところです。

4回目は、罪を得て越前に流された中臣朝臣宅守と妻の狭野弟上娘との贈答歌全六十三首を一緒に解説していただきました。最初は「君が行く道の長手を繰り畳ね焼き滅ぼさむ天の火もがも」と情熱的な歌を贈った娘が、終わりの方ではおさなりの歌を作っていて、気持ちが冷めてしまったので

贈った全二十九首。情熱的に迫る女郎にたじたとして逃げ腰の貴

公子・家持の様子が想像されます。返歌はたった二首だったそうです。最後に、受講者の女性から、先年大ヒットしたアニメ映画『君の名は』は万葉集の「誰そ彼と我をな問ひそ九月(ながつき)の露に濡れつつ君待つ我を」がモチーフになっているというお話がありました。「万葉集」はこんな所でも現代に生きているのだと感慨深いものがあります。



「誰も知らないコケの生き方」に参加して



前田 貴子

道路際のコンクリート塀のすき間から京都の寺院の美しい苔庭まで、割とどこにでも生えていて身近な、でも深くは知らない。そんなコケ植物のミステリアスな生き方というタイトルにひかれて、樋口正信先生(国立科学博物館・筑波実験植物園所属)のお話を伺いに参りました。

日本列島は生物多様性に恵まれた「大陸島」で、5600種類もの植物が存在するそうです。面積がざっと日本の30倍はあるヨーロッパエリアで2000種だそうですから、如何にわが国が自然の宝庫であることか!世界全体で1万8000種あるコケ植物に関しては、その内の一割にあたる1800種が日本に生息しているそうです。国家・君が代の歌詞にも「苔のくむくすくすま〜で〜」と現われる植物ですから、一種独特な存在感を放っているような気がしますね。



講師のお話熱心に耳を傾けています

熱帯から極寒の地まで分布するコケ植物ですが、光化学スモッグが酷かった頃の山手線の内側からは姿を消してしまっていたそうで、人類に大切なシグナルを発している存在でもあるようです。現在は都内の空気が綺麗になったこと

で戻ってきたそうです。良かった良かった。



コケの生態について詳しくお話いただきました

コケ植物の身体の構造や、有性と無性を繰り返す生殖サイクル、またモウセンゴケの様に名前にコケとついているけれども、実は食虫植物であってコケの仲間ではない、一見コケっぽいけどコケじゃない植物シリウス(菌類やシダ植物にも〇〇ゴケとつくものがあります)等々、ややこしくも興味深いお話が続きます。コケはまた乾燥に強く、カラカラに乾いても水が入れば即復活!(コケの変水性)

人間も多少萎れることがあっても、かくありたいものだと思います。ひとしきりコケの生態について語られた後は、コケ写真の上手な撮り方やコケテラリウムの簡単な作り方、コケ川柳カルタの紹介と、学術知識の披露だけではない、コケにもっと親しんで楽しませよう

う!という講師の熱いコケ愛を感じました。

帰り道は道路端や植え込み下の小さな緑の塊に、やたらと目の行く自分がいました。わが家の庭にもゼニゴケ(駆除方法の相談がとでも多いそう)大魔王が鎮座ましましていますが、これからはもうちょっと温かい……いえ生温かい目(苦笑)で観察できそうです。樋口先生、有難うございました。



「母と娘のむずかしさ」に参加して

高橋 りえ



昨年、92歳になった母が高齢者施設に入り10年に及ぶ自宅での介護が終わりました。気持ちにも時間にも余裕が出てきたときに、「母と娘のむずかしさ」の講座を知りました。

私自身、母との関係にむずかしさを感じたことはないけれど、私は自分と母の関係性しか知らない。他の方たちは母と娘の間でどんなことを感じ、どのように向き合っているのかを聞いてみたいと軽い気持ちで申し込みました。

実際に受講してみると、今の私にこそ必要な内容だったとわかりました。そして、講座が終わるころには、清々しい気持ちになりました。未来は明るいと感じている自分がありました。

3回の講座を振り返ってみると、大きな気づきが2つありました。1つは、母との関係において、自分が本当によくやってきたということ。そして、人は誰もが可能性に満ちているということです。

第1回目の講座では、私は自分を心から褒めなくなりました。母と娘のむずかしさの背後にある問題を知り、客観的な視点から娘としての自分を見たときに、自分がいかに頑張ってきたのが初めてわかりました。頑張るのは当たり前前と思いつながら、実は難しい家族システムのなかでよくやってきた自分へのねぎらいの気持ちがあふれました。

第2回目の講座では、自分のことが好きになりました。自分の考え方の癖を知り、前向きな考え方に変えていくコツを学んだり、私に気づいていなかった自分の強みを発見するワークを通して、自分への肯定感が高まりました。「私って、捨てたもんじやない。なかなか良いかも。」と自分に



ワクワクしました。

最終回には、未来は明るい！という気持ちになりました。自分も相手も大切にす対話方法は、とても興味深いものでした。また、思考の癖を変えるのはむずかしいことではないとわかり、気持ちが軽くなりました。私は、どちらかというと、物事を深刻に考えがちでしたが、現実に対しての積極的な考え方や在り方を教えていただき、「これからの自分の人生が楽しみ」という気持ちになりました。「母と娘のむずかしさ」の講座を通して、自分が歩んできた母との日々を客観的に振り返ることができたことは、これからの私にとって大きなプラスになると感じています。講座を受けて、私は今までの人生に「たいへん良くできました」と満点をあげることにしました。また、母への感謝が深まったと同時に、自分への感謝をもっと大切にしていこうと思いました。母と娘の関係性は母と娘の数だけあると思います。すべての方の母と娘の関係はかけがえない宝物であってほしいと思います。私自身、この講座で学んだ考え方を日常に取り入れて、より楽しい人生を開いてゆきたいと思っています。



「地域史講座 新選組ゆかりの地を訪ねる」に参加して
阿竹 政子

浅黄色に袖を白く山形に染め抜いた羽織、これは言わずと知れた新選組揃いの羽織です。(残念ながら本物の羽織は現存していないそうです。)小説やドラマ、ゲームでも知られる「新選組」は、映画も公開予定な程の人気を誇っています。そして姿形から生き方まで「イクメン」な土方歳三(以下、歳三)は私も大好きな隊士です。「土方歳三資料館」は「行きたい!!」と思いつつも現在まで行けずじまいの憧れの場所でした。今回、公民館だよりで「土方歳三資料館」を訪ねる講座を知り参加を心待ちにしていました。



様々な資料から新選組メンバーの実像をお話いただきました

第2回フィールドワークは秋晴れの中、万願寺駅より高幡不動尊までの約3kmの道のりです。「土方歳三資料館」やバラガキ(イバラのような鋭い棘を持った童)だつた歳三が遊んだであろう「とうかん森」、土方家代々の墓がある、「石田寺」(歳三が散つた函館の土が弔われているそうです)、浅川沿いの歩道からふれあい橋を渡



新選組ゆかりの地を訪れました

第1回は「土方歳三と新選組のふるさと」資料からみるその実像」で「日野市立新選組のふるさと歴史館」学芸員 高橋秀之講師により、地元(日野市石田や谷保)に伝わる日記等の資料から、歳三や近藤勇が新選組として活動する前にこの多摩の地でどんな日々を過ごしていたのかお話を伺いました。創作ではない、歳三や近藤勇の実像を思い浮かべながらの講義はとても興味深いものでした。

今この街並みの中に昔の面影を探すことは容易ではありませんが、同行して頂いた「国立まなびあるきの会」の皆様のお話や手作り資料での説明で身近に感じることができました。「ああ、私は今、歳三と同じ場所を歩いている。」と、一瞬幕末にワープしたような、ふわっとした感覚になるのです。そして、浅川沿いの歩道から向島用水親水路は、晴天と秋の景色が相まって非常に気持ち良く歩け



天候に恵まれ、浅川沿いを気持ち良く歩きました

り、向島用水親水路をぬけてのゆかりの地を、日野市の風景を楽しみながら廻りました。「土方歳三資料館」では代々受け継がれた貴



高幡不動尊の土方歳三像前で解散しました

ました。また一つ素敵な場所を知り嬉しくなりました。ゴールの高幡不動尊は関東三大不動のひとつとされる寺院です。仁王門や不動堂は重要文化財で、また歳三の菩提寺なのだそう。ここには近藤勇・歳三両雄の碑や、歳三の銅像、位牌そして歳三の書簡など、多くの資料が保管されていると伺いました。コースはゆっくり歩いて約3時間。新選組のルーツを辿りながら彼らの実像と風景を重ね合わせた新鮮な時間でした。2日ともお世話になりました。講師の高橋さんは、その豊富な知識でなんでも答えて下さり、またここまで準備をしてくださった公民館職員の方々や「国立まなびあるきの会」の皆さま、本当にありがとうございました。楽しい思い出深い一日となりました。

〈憲法講座〉
民主主義と地方自治
 ～国と地方自治体のあるべき関係～

講師 白藤 博行 (専修大学)

オンライン
 受講可能

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言は、国と地方自治体の関係を問い直しています。憲法には基本三原則（国民主権、基本的人権の保障および平和主義）とともに地方自治が保障されていますが、長い中央集権体制・機関委任事務体制のもとでは両者の関係を主従上下関係として扱い、本来の地方自治は十分に機能しませんでした。

1999年の地方自治法改正において、あらためて国と地方自治体は対等・並立・協力の関係であることが明確にされましたが、実際には、沖縄県の辺野古訴訟のように、国防や安全保障では、国が優位となり、首長や住民の意思や希いが損なわれる事態が生じています。

本講座では、憲法による地方自治保障、地方自治法改正における国の関与法制の確立、現実社会での課題等を伺い、国と地方自治体の本来あるべき関係を考えます。

とき 3月28日(日) 昼2時～4時
 ところ 公民館 3階講座室
 定員 会場受講：15名、オンライン受講：30名
 ※いずれも申込期間は同じ・申込先着順
 申込 3月11日(木) 朝9時～3月24日(水) 夕5時

～オンライン受講可能な
 講座の申込先～

会場受講：公民館 ☎ (572) 5141

オンライン受講：

✉ sec_kominkan@city.kunitachi.lg.jp

→参加方法の詳細は、前日までにメールいたします。

※申込みメールには以下の項目を明記してください。

件名：申込みを希望する

講座のタイトル

本文：①氏名

②ふりがな

③住所

④電話番号

メール画面参考▶

件名
 (図書館のつどい) オンライン受講の申込み

①国立 太郎
 ②くにたち たろう
 ③国立市〇〇丁目〇〇番地の〇
 ④042-0000-0000

当日、参加者側の接続や音声の不備についてのお問い合わせには対応できませんのでご了承ください。

公民館へご来館の際のお願い

新型コロナウイルス感染症予防対策として以下の点にご協力をお願いいたします。

- ・自宅で検温してからお越しください。
- ・マスクを着用し、手指の消毒を行ってください。
- ・サークル・団体の代表者等は、参加者氏名と緊急連絡先を必ず把握し、保健所等から依頼があった場合は、参加者名簿を提示してください。
- ・会場はこまめに換気してください。

逃げずに留まる
 「在宅避難」のすすめ



オンライン
 受講可能

お話し 釜石 徹 (災害対策研究会、マンション防災士)

大地震が起きたら皆さんはまず避難所へ向かいますか？被災直後の避難所は大混乱していて、3密の不安もあり、プライバシーの確保も難しい状況が予想されます。釜石さんは、引き続き自宅が住める状態であれば、在宅避難のほうがメリットが大きいことを指摘しています。

今回は映像やクイズ、ワークショップなどを通して必要な備えを確認します。また、在宅避難に役立つ防災グッズや、災害時にお勧めのポリ袋調理をビデオで紹介して頂きます。

〈釜石さんの本〉

『マンション防災の新常識』(合同フォレスト)

とき 3月27日(土) 朝10時～昼1時
 ところ 公民館 地下ホール
 定員 会場受講：40名、オンライン受講：30名
 ※いずれも申込期間は同じ・申込先着順
 申込 3月11日(木) 朝9時～3月23日(火) 夕5時
 協力 KUNIBO
 (くにたち外国人のための防災連絡会)

オンライン受講の方は、映像資料の視聴の際、映像が途切れる可能性がありますので、ご了承ください。

〈人権講座〉

地域で守る子どもの人権

～虐待を受けている子どもたちに私たちができること～

オンライン
 受講可能

お話し 川松 晃 (明星大学、社会福祉士)

テレビや新聞では、児童虐待の悲しいニュースが後を絶ちません。その背景には、家庭と地域の繋がりが薄くなったことによる、社会的孤立が見られます。

家庭と地域が繋がることで、虐待を受けた子どものケアを早期に行うことができます。保護者には、それまでとは違う子育て方法の提案や、改善に向けた取り組みを早い段階で行うことができるだけでなく、妊娠期から困難を抱えている女性を地域と繋げることで、虐待を防ぐことができます。川松さんは、このような支援は一人の支援者や一つの機関だけで行うのではなく、それぞれができる支援を繋ぎ合わせる必要があるといます。

今回は、児童虐待の現状を、地域とのつながりの希薄化という観点からお話しして頂き、私たちは地域で具体的にどのようなことができるのかを考えます。

とき 3月21日(日) 昼2時～4時
 ところ 公民館 3階講座室
 定員 会場受講：15名、オンライン受講：30名
 いずれも申込期間は同じ・申込先着順
 申込 3月10日(水) 朝9時～3月18日(木) 夕5時

〈図書室のつどい〉
ヒトと進化論
進化論とヒト

お話 更科 功 (明治大学・立教大学兼任講師)

二足歩行で賢くて……人間は他生物に無い特徴をたくさん持っています。そのため、つい「優れた生き物」として、人間を進化の頂点に置いて考えてしまいます。けれど、二足歩行の人間は、他生物に比べて速く走ることはできません。大きい脳を持つ人間は、他生物よりも大量のエネルギーを消費します。……果たして本当に人間は「優れた生き物」と言えるのでしょうか？

私たち人間はいかに“ヒト”になったのか。今回は「進化」というテーマを通して、他生物とのつながりや、「私たち“ヒト”が生きる」ということについてお話いただきます。

〈更科さんの本〉

『残酷な進化論—なぜ私たちは「不完全」なのか』(NHK出版)、『化石の分子生物学—生命進化の謎を解く』(講談社現代新書、講談社科学出版賞受賞)ほか

とき 4月17日(土) 昼2時～4時
ところ 公民館 地下ホール
定員 40名(申込先着順)
申込先 3月18日(木) 朝9時～
公民館 ☎ (572) 5 1 4 1



〈図書室のつどい〉
水墨画入門
—「モノクロームの世界」への道案内—

お話 島尾 新 (学習院大学)

ウサギやカエルが戯れる「鳥獣戯画」、言わずと知れた雪舟——。誰もが一度は触れたことのある“水墨画”。けれど、その奥深さに分け入るのは何だか敷居が高そうだな、と感じていませんか？

水墨画の“読む”入門書を、矢代幸雄の名著『水墨画』から半世紀ぶりに上梓された島尾さんに、東アジア独特の「筆墨の文化」や歴史や思想、作品と技法といった様々な切り口からお話いただきます。墨と、筆と、水と、白い紙から生み出される「モノクロームの世界」への旅をはじめましょう。

〈島尾さんの本〉

『水墨画入門』(岩波書店)、『もっと知りたい雪舟—生涯と作品』(日本美術)ほか多数

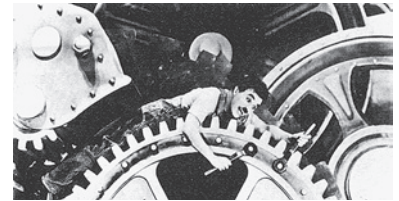
とき 3月21日(日) 昼2時～4時
ところ 公民館 地下ホール
定員 40名(申込先着順)
申込先 3月9日(火) 朝9時～
公民館 ☎ (572) 5 1 4 1



シネボックス
〈CINEVOX 公民館映画会〉
『モダン・タイムス』
MODERN TIMES
1936年 アメリカ 白黒87分 ※DVD版

監督・製作・脚本・音楽 チャールズ・チャップリン
出演 チャールズ・チャップリン、ポーレット・ゴダード

喜劇王チャップリンが、能率主義による機械化に翻弄され、どんどん人間性が失われていく《現代社会》を痛烈に笑い飛ばした、風刺喜劇の名作。トーキー嫌いのチャップリンは、時代に逆らうようにあえて無声映画スタイルで作ったが、それでもファン・サービスとして、名曲「ティティーナ」で初めてその美声を披露してみせた。



とき 3月28日(日) 昼2時～(開場昼1時)
ところ 公民館 地下ホール
定員 35名(申込先着順)
申込先 3月17日(水) 朝9時～
公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

*事前申し込み制となっています。必ず電話もしくは窓口にて事前にお申し込み下さい。
*新型コロナウイルス感染予防として、途中で10分程度、換気のため休憩を設けます。ご了承下さい。

〈男性の料理入門春休み特別企画〉
じゃがいもが
デンプンに変身!

講師 北川 みどり (管理栄養士)

じゃがいもからデンプンを取り出します。またサイドメニューとして、デンプンを利用したフランス料理「アリゴ」を実際に作ります。つくたてのお餅のようによく伸びます。どうぞご参加ください。
※新型コロナウイルス感染防止の観点から、その場で飲食はせず、ご家庭に持ち帰っていただきます。
※今後の感染状況によっては中止することがあります。

とき 3月28日(日) 朝10時～12時ころまで
場所 福祉会館 3階料理講習室
定員 親子4組(おじいさんでも可)、申込先着順
費用 一組(親+子ども)700円

3月23日(火)までに公民館へお支払いください(受付時間:月曜日以外の朝9時～夕5時)。当日払いはできません。食材購入後のキャンセルは実費をご負担していただきます。中止した場合は返金いたします。

持ち物 エプロン、三角巾(タオル可)、筆記用具 ポリ袋(ゴミ持ち帰り用)ふきん2枚(台ふき用、皿ふき用)
申込先 3月9日(火)朝9時～ 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

一公民館の会場予約のご案内一

公民館の会場をより多くの団体が利用できるよう、会場調整の場を設けています。引き続き、3つの密を避けるため、ご協力をお願いいたします。

5月～8月(ロビーは6月～9月)の利用希望は以下の方法で、調整会へご参加ください。

★「公民館会場等使用調整会参加申込書」の提出

公民館1階入口正面の会場別ポストに参加申込書を入れてください。
ポスト投入期間は、以下の表(■今後の会場調整会)のとおりです。



申込書は、入口正面にあるポストに投入してください。

★ 重なりのある団体へのお知らせ

以下の表の日程で、会場別ポスト付近に掲示します。
ホームページでもお知らせします。



▲QRコードからご確認いただけます。

★ 掲示のあった団体 …会場調整会への参加

調整会へは、できるだけ1団体1名、第1希望が取れなかった場合の別の候補日や会場を想定して、最終的な判断ができる方がご参加ください。(参加しなかった場合や、開始時間に遅れた場合は、使用希望は取り消しとなります。)

★ 掲示のなかった団体 …本申込み

…本申込み

会場調整会翌日以降、
2階事務室へ本申込みにお越しください。会場調整会当日は、本申込みはできません。

★ 会場調整会後の予約方法

- ・2階事務室での受付…調整会当日の午後2時～
- ・電話での仮予約…調整会当日の午後3時～
- ※受付時間:午前9時～午後5時(月曜、祝日、年末年始を除く)

*詳細や不明な点は、公民館までお問合せください。
*会場調整会は、公民館利用者連絡会のご協力によって実施しています。

■今後の会場調整会日程

(※いずれも午前10時～)

使用希望月(ロビー)	申込書のポスト投入期間	重なり団体の掲示日	※会場調整会
5月(6月)	3月6日(土)～3月25日(木)	3月27日(土)～	4月3日(土)
6月(7月)	4月3日(土)～4月22日(木)	4月24日(土)～	5月1日(土)
7月(8月)	5月1日(土)～5月27日(木)	5月29日(土)～	6月5日(土)
8月(9月)	6月5日(土)～6月24日(木)	6月26日(土)～	7月3日(土)



松と桜
撮影 加藤 興一(東)

ひろば

くにたち公民館だより 〈集約版〉区ができました!

掲載分はNo.662~721号(2015年4月5日号~2020年3月5日号)になります。

閲覧可能な場所は公民館図書室、中央図書館、北市民プラザ図書館、くにたち郷土文化館です。お手元にとって、ご覧ください。



数学を楽しむ集い(3月期)
ロッカー開閉パズルや整数の性質のお話を致します。数学の思いがけない使い方がお分かりいただけます。どなたでも気軽に過ごして下さい。参加の方はお電話を。
日時 3月6日(土)13日(土)1時~
場所 公民館 集会室
連絡先 山本(572)1028

「ひろば」写真募集中
国立の風景や行事、自然などの写真を募集しています。ご協力いただける方は公民館までご連絡ください。

くにたち デジタルブック

過去に公民館だよりをご覧になりたい方は、『くにたちデジタルブック』もご活用ください。

くにたち デジタルブック QRコード

国立市デジタルライブラリー 検索

公民館運営審議会報告

2月1日(月)第33期第4回定例会を開催。委員15名、館長、職員2名出席。傍聴人8名。

議事録修正のルール確認
前回意見の反映案を承認。

報告事項

○公民館だより編集研究委員会
1月号編集研究委員会のまとめは、誰が書いているのか明確にする必要ありとの意見あり。

○社会教育委員の会

「適切な事業評価方法の検討」についての検討。

○東京都公民館連絡協議会

研究大会の基調講演動画が2月10日、都公連ホームページに公開される予定です。

協議事項

○公民館の職員体制の充実と公民館長人事に関する要望書について各委員から意見を受けて協議。

主な内容は、①市民との信頼関係を築ける職員の長期配置②公民館経験者や社会教育主事等の有資格者で熱意と意欲のある職員の配置。③職員の研修機会の充実と会計年度任用職員の正規職員への検討。④コロナ禍でも学習できる職員体制の維持。⑤館長人事は処務規則第3条を遵守し公運審意見を聴取。

最終的に正副委員長が委員意見をまとめ、要望案として2月中旬に市長と教育長に面談のうえ提出し回答を求める。

次回3月9日(火)夜7時15分から地下ホール。感染予防の上、傍聴歓迎。(野口)

公民館の窓 にほんごサロン



にほんごサロンは、KUNIBO(くにたち外国人のための防災連絡会)との共催で、外国の方や日本語を母語としない方を対象とし、色んな人と日本語で会話する機会を作り、外国の方が地域に溶け込めることを目的として始まった取り組みです。参加者の多くは、公民館主催の日本語講座も受講しています。サロンでの生活に関する情報交換やおしゃべりを通して、自然な日本語の会話を目指しています。

現在は、実際に集まることが難しいため、オンラインで交流を図

っています。昨年は、画面越しに太極拳を教えたり、お好み焼きの作り方を紹介したりしました。オンライン会議システムの操作はなかなか慣れない上に、通信トラブルが起るなど、予期せぬ事態が起きるため大変ですが、参加者の方が楽しんでる様子を見ると、とてもやりがいを感じます。

人と接することがはばかれる現在ですが、こういう時だからこそ、人とのつながりを守ることが大切だということを、にほんごサロンを通して感じることができました。今後もオンライン会議システムを活用して、地域のつながりを守ってまいります。

(C・O)

第57回東京都公民館研究大会 コロナ時代に向き合う公民館 ~新しい生活様式と公民館~

■基調講演 長澤 成次さん
(放送大学千葉学習センター所長、千葉大学名誉教授、第33期国立市公民館運営審議会委員)

1月号に掲載された研究大会の、動画の掲載が始まりました。

公民館が地域とともにどのような未来をつくり、どのような想いをつなぐべきかを考えながら、新たな取り組みへの挑戦を決意する機会にします。

【視聴方法】 都公連ホームページに掲載された基調講演の動画等を、各自でご覧ください。参加無料・申込不要で、どなたでもご覧いただけます。

※動画視聴に伴う通信料については、視聴される方のご負担になります。

都公連 ホームページ▶

掲載期間 2021年2月10日~2022年1月31日

ひろば

(7ページにもあります)



くにたち混声合唱団と第43回定期演奏会のご案内

花に寄せて(新実徳英曲・星野富弘詩)フォーレ作曲小ミサ、ラシース讃歌他、花の街、時代、アムール河の波予定。お楽しみ下さい。
 日時 3月20日(土) 昼2時開演
 場所 府中の森芸術劇場ホール
 連絡先 佐藤090(252) 8650

水泳「とびうお」会員募集

コロナ禍の折、健康維持、体力増進に塩素使用の温水プールで楽しく、元気に泳ぎましょう。会員、指導者すべて女性。レベル別に指導。体験水泳可。
 日時 毎週火曜日 昼12時～2時
 場所 総合体育館 室内プール
 連絡先 野上(574) 9728

—5月(ロビ—6月分) 会場調整会のお知らせ—

申込書のポスト投入期間	3月6日(土)～25日(木)
公用使用の貼り出し	3月10日(水)頃
予約の重なりのある団体の掲示開始日	3月27日(土) ▶重なり状況
会場調整会	4月3日(土)朝10時～

- ・予約の重なりのある、なしに関わらず、電話による連絡はいたしません。(ご不明な点は、公民館へお問い合わせください。)
- ・会場調整会へは、1団体1名の方が、手洗い・マスク着用等の感染症対策のうえ、第1希望の会場がとれなかった場合の別の候補日も想定して、活動日を決定できる方がご参加ください。

会場調整会は朝10時までに受付を済ませて下さい。



今後の動向により、講座開催の延期や中止など変更があった場合は、公民館入り口付近への掲示や、ホームページでお知らせいたします。ご不明の点はお問い合わせください。
 公民館 ☎ (572) 5141



講座情報▶

「ひろば」欄投稿規定

市内の団体・グループ活動のお知らせの場です。原稿の締切りは、掲載希望月の前月7日の午後5時です(7日が月曜日の場合は、翌日の8日まで)。原則として掲載月の7日から翌月6日までのお知らせを掲載します。公民館備付けの原稿用紙に団体名・サークル名を含めてお書きください。氏名には振りがなをふってください。会員募集は6カ月に一回掲載することができ、紙面の都合により翌月掲載とすることがありますので、ご了承ください。

「サークル訪問353」 アイビエス IPS合唱団

公民館地下ホールのドアを開けると「フィガロの結婚」の女性二重唱の練習中だった。マスクをしたまま歌っているのにまず驚く。指揮をしているのは国立音大大学院出身の平川信先生。立ち姿が若々しく、指導歴が50年以上と聞いてまたびっくり。複数の合唱団の指導を精力的にこなしているようだ。

総勢は15人だが、この日の参加は男性3人、女性6人。先生の奥様がピアノを担当する。「必ずしも大人数がなくても、その時の構成で出来るベストのことを」と先生。「ここに来て声の出し方が変わった」「心がスッキリする」「先生に頭の後ろから声を出せと言われてたりして」と、団員の皆さんはこのサークルで歌うことが楽しくて仕方がない様子。先生は「ここは一つ言葉を投げかけると返ってくる」と笑う。

この合唱団は出来てまだ1年ほどだが、他の合唱団にも所属して活動しているメンバーが多い。平川先生と20年以上のお付き合いになる団員や、先生の指揮する合唱を聞いて「入りたい」と加わった団員も。

この日は「見上げてごらん夜の星を」なども聴かせてもらった。コロナ禍の中で聴くと、改めて人間の声はこんなに豊かだったのかと感動し癒された。興味のある方はぜひ見学を。

日時 隔週金曜日夜6時半～8時半
 場所 公民館
 連絡先 北村 090(3108) 2021
 (文・写真 西尾万樹)



先生の指導のもと、皆で曲を作り上げる